

広野火力発電所における石炭灰運搬船の導入および船名の決定について

<資料3>
平成25年5月31日
東京電力株式会社

今夏の電力安定供給確保に向け、平成25年4月12日より広野火力発電所6号機の試運転を開始しています。これにより石炭灰の発生量が増加するため、6月11日に広野火力発電所専用船となる石炭灰運搬船を導入します。

広野町では平成24年8月に広野町本校舎で小・中学校等が再開しており、船名の「きぼう」は、広野町の将来を担う児童・生徒の皆さまを対象とさせて頂いた公募にて決定しました。



<「きぼう」の外観 3/15撮影>

【船名の公募について】

募集対象：広野小・中学校の児童・生徒
の皆さま 96名

応募総数：205件

頂いたご応募の中から、最も多かった
「きぼう」を採用させて頂きました。

【石炭灰運搬船「きぼう」仕様】

寸法:105.3 m × 17.5 m × 8.55 m

総トン数：4,629 t

載貨重量：4,499.75 t

主機関エンジン出力：3,250 kW